

2005 年冬学期 第 7 回 物性セミナー

「Condensed Matter Physics at RHIC?」

■講師 藤井 宏次 氏 (東大院総合文化)

■日時 2005 年 12 月 16 日 (金) 午後 4 時 30 分

■場所 16 号館 827

最近、駒場の原子核理論グループの周辺で話題になっている事柄を紹介します。

陽子や中性子の性質は、量子色力学 (QCD) によって記述され、クォークやグルオンから構成されています。これまでに、量子色力学の系を有限温度密度状態に置いたときの相図が考察され、非閉じ込め相転移、三重臨界点やカラー超伝導相の存在が示唆されています。これらの話題に関して理論的、実験的研究を簡単にお話しします。

○物性セミナーのページ <http://phys.c.u-tokyo.ac.jp/~mino/seminar.html>

○ 駒 場 セ ミ ナ ー カ レ ン ダ ー (駒 場 内 の み ア ク セ ス 可)
<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/webcal/webcal.cgi>

連絡先 : 簗口 (物性セミナー係) [12]